SD-WANでのサービスチェーンに対するルート 漏出の設定

内容

```
はじめに
前提条件
  要件
  使用するコンポーネント
  ネットワーク図
背景説明
設定
  ルート漏出
   CLIを使用した設定
   <u>テンプレートを使用した設定</u>
  サービスチェーン
   CLIを使用した設定
   テンプレートを使用した設定
  ファイアウォールサービスのアドバタイズ
   CLIを使用した設定
   テンプレートを使用した設定
確認
  ルート漏出
```

<u>サービスチェーン</u> 関連情報

はじめに

このドキュメントでは、異なるVRF間のトラフィックを検査するためにサービスチェーンを設定 および確認する方法について説明します。

前提条件

要件

次の項目に関する知識があることが推奨されます。

- Cisco Software-Defined Wide Area Network(SD-WAN)
- 制御ポリシー。
- テンプレート.

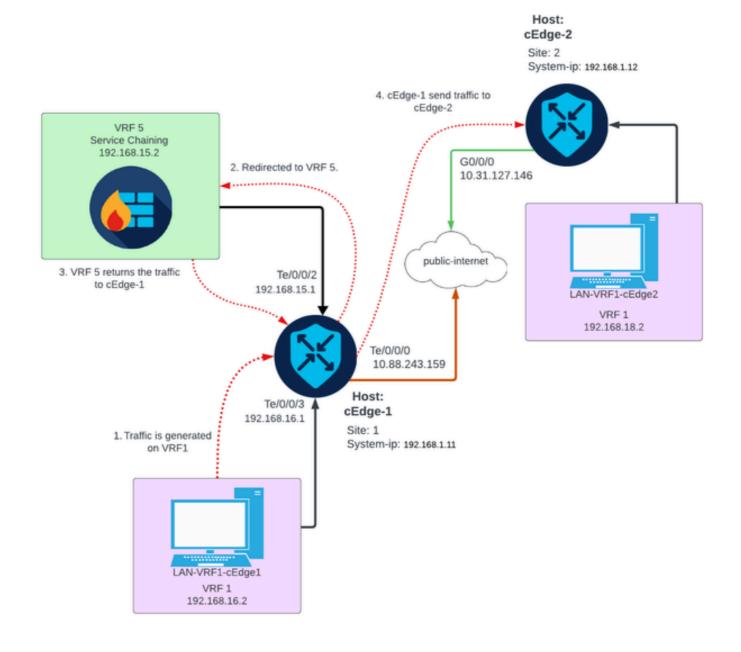
使用するコンポーネント

このドキュメントは、次のソフトウェアとハードウェアのバージョンに基づいています。

- SD-WANコントローラ(20.9.4.1)
- Ciscoエッジルータ(17.09.04)

このドキュメントの情報は、特定のラボ環境にあるデバイスに基づいて作成されました。このドキュメントで使用するすべてのデバイスは、クリアな(デフォルト)設定で作業を開始しています。本稼働中のネットワークでは、各コマンドによって起こる可能性がある影響を十分確認してください。

ネットワーク図



背景説明

このネットワークダイアグラムでは、ファイアウォールサービスはVirtual Routing and

Forwarding(VRF)5内にあり、LANデバイスはVRF 1上にあります。トラフィックの転送と検査を実現できるように、ルートの情報をVRF間で共有する必要があります。サービスを介してトラフィックをルーティングするには、Cisco SD-WANコントローラ上に制御ポリシーを設定する必要があります。

設定

ルート漏出

ルート漏出により、異なるVRF間でのルーティング情報の伝搬が可能になります。このシナリオでは、サービスチェーン(ファイアウォール)とLANサービス側が異なるVRFにある場合、トラフィックの検査にルート漏出が必要になります。

LANサービス側とファイアウォールサービス間のルーティングを保証するには、両方のVRFでルートのリークが必要であり、ルートのリークが必要なサイトでポリシーを適用します。

CLIを使用した設定

1. Cisco Catalyst SD-WANコントローラでリストを設定します。

この設定では、リストを使用してサイトを特定できます。

```
<#root>
vSmart#
config
vSmart(config)#
policy
vSmart(config-policy)#
lists
vSmart(config-lists)#
site-list cEdges-1
vSmart(config-site-list-cEdge-1)#
site-id 1
vSmart(config-site-list-cEdge-1)# exit
vSmart(config-lists)#
site-list cEdge-2
vSmart(config-site-list-cEdge-2)#
site-id 2
```

```
vSmart(config-site-list- cEdge-2)# exit
vSmart(config-site-list)#
vpn-list VRF-1

vSmart(config-vpn-list-VRF-1)#
vpn 1

vSmart(config-vpn-list-VRF-1)# exit
vSmart(config-site-list)#

vpn-list VRF-5

vSmart(config-vpn-list-VRF-5)#
 vpn 5

vSmart(config-vpn-list-VRF-5)#
 commit
```

2. Cisco Catalyst SD-WANコントローラでポリシーを設定します。

この設定では、VRF 1とVRF 5の間でルーティング情報を伝搬できるため、VRF間のルーティングが確実に行われ、両方のVRFでルーティングデータを共有する必要があります。

ポリシーは、VRF 1のトラフィックを許可してVRF 5にエクスポートし、またその逆も許可します。

```
<#root>
vSmart#
config

vSmart(config)#
policy

vSmart(config-policy)#
control-policy Route-Leaking

vSmart(config-control-policy-Route-Leaking)#
sequence 1

vSmart(config-sequence-1)#
match route

vSmart(config-match-route)#
```

```
vpn 5
```

```
vSmart(config-match-route)# exit
vSmart(config-sequence-1)#
action accept
vSmart(config-action)#
export-to
vSmart(config-export-to)#
vpn-list VRF-1
vSmart(config-action)# exit
vSmart(config-sequence-1)# exit
vSmart(config-control-policy-Route-Leaking)#
sequence 10
vSmart(config-sequence-10)#
match route
vSmart(config-match-route)#
vpn 1
vSmart(config-match-route)# exit
vSmart(config-sequence-10)#
action accept
vSmart(config-action)#
export-to
vSmart(config-export-to)#
vpn-list VRF-5
vSmart(config-action)# exit
vSmart(config-sequence-10)# exit
vSmart(config-control-policy-Route-Leaking)#
default-action accept
vSmart(config-control-policy-Route-Leaking)#
commit
```

3. Cisco Catalyst SD-WANコントローラにポリシーを適用します。

サイト1とサイト2にポリシーが適用され、これらのサイトにあるVRF 1とVRF 5の間のルーティングが許可されます。

ポリシーはインバウンドで実装されます。つまり、CiscoエッジルータからCisco Catalyst SD-WANコントローラへのOMPアップデートに適用されます。

```
<#root>
vSmart#
config
vSmart(config)#
apply-policy
vSmart(config-apply-policy)#
site-list cEdge-1
vSmart(config-site-list-cEdge-1)#
control-policy Route-Leaking in
vSmart(config-site-list-cEdge-1)# exit
vSmart(config-apply-policy)#
site-list cEdge-2
vSmart(config-site-list-cEdge-2)#
control-policy Route-Leaking in
vSmart(config-site-list-cEdge-2)#
commit
```

テンプレートを使用した設定

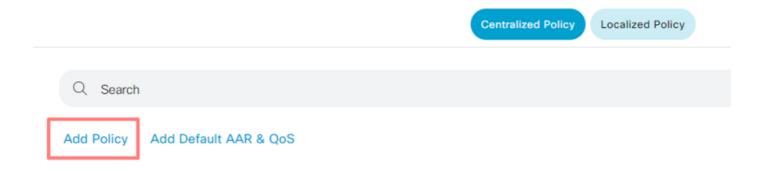


注:Cisco Catalyst SD-WAN Manager Graphic User Interface(GUI)を介してポリシーをアクティブにするには、Cisco Catalyst SD-WAN Controllerにテンプレートが接続されている必要があります。

1. ルーティング情報の伝達を許可するポリシーを作成します。

Cisco Catalyst SD-WAN Managerでポリシーを作成し、Configuration > Policies > Centralized Policyの順に選択します。

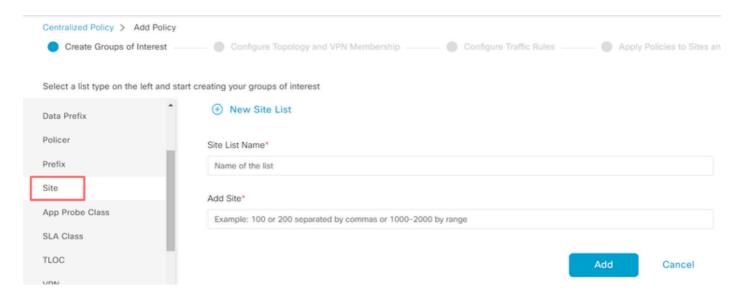
Centralized PolicyタブでAdd Policyをクリックします。



2. Cisco Catalyst SD-WAN Managerでリストを作成します。この設定では、リストを使用してサイトを特定できます。

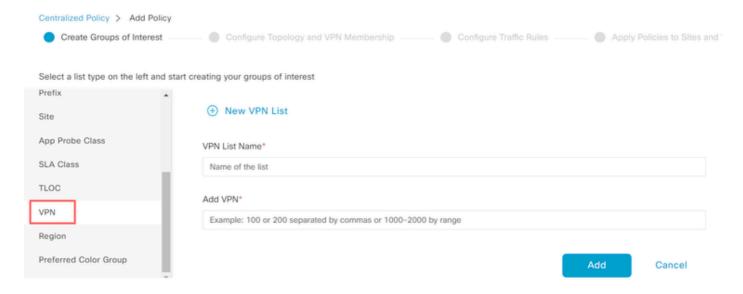
Site > New Site Listの順に移動します。

ルート漏出が必要なサイトのリストを作成し、そのリストを追加します。



VPN > New VPN Listの順に移動します。

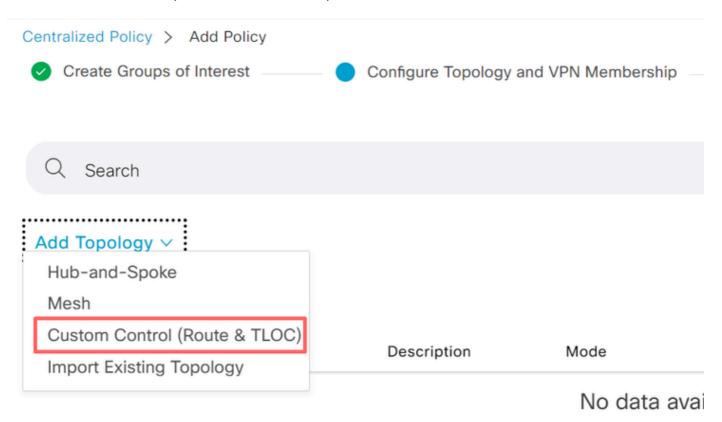
ルート漏出を適用する必要があるVPNリストを作成し、Nextをクリックします。



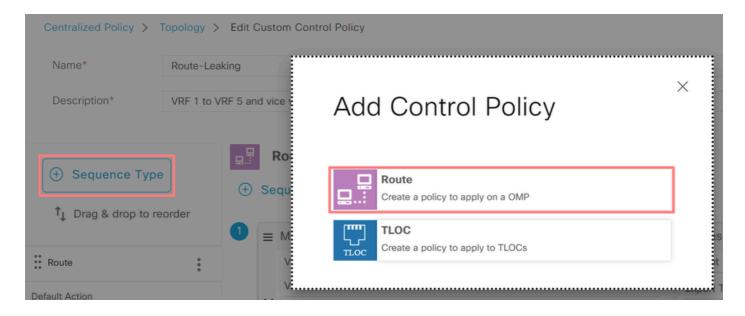
3. Cisco Catalyst SD-WAN Managerでポリシーを設定します。

Topologytabをクリックし、Add Topologyをクリックします。

カスタムコントロール(ルートおよびTLOC)を作成します。

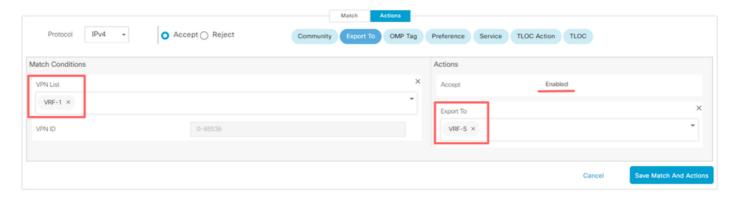


Sequence Typeをクリックして、Route sequenceを選択します。

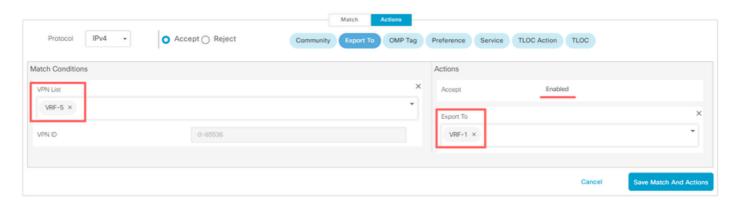


シーケンスルールを追加します。

条件1:VRF 1のトラフィックが受け入れられ、VRF 5にエクスポートされます。



条件2:VRF 5のトラフィックが受け入れられ、VRF 1にエクスポートされます。



ポリシーのデフォルトアクションをAcceptに変更します。

Save Match and Actionsをクリックし、次にSave Control Policyをクリックします。

Def	ault Action					
			Accept	Reject		
	Accept Enabled					
	7.666					
					Cancel	Save Match And Actions
					0411001	
		0 0 I D. II		Operation		
		Save Control Poli	icy	Cancel		

4. ルート漏出が必要なサイトにポリシーを適用します。

Topologyタブをクリックし、Route-Leaking Policyの下でNew Site/Region List on Inbound Site Listを選択します。ルート漏出が必要なサイトリストを選択します。

変更内容を保存するには、Save Policy Changesを選択します。



サービスチェーン

サービスチェーンは、サービス挿入とも呼ばれます。ネットワークサービスの注入が含まれます。標準サービスには、ファイアウォール(FW)、侵入検知システム(IDS)、および侵入防御システム(IPS)が含まれます。この場合、ファイアウォールサービスがデータパスに挿入されます。

CLIを使用した設定

1. Cisco Catalyst SD-WANコントローラでリストを設定します。

この設定では、リストを使用してサイトを特定できます。

各VRF 1が配置されているサイトのリストを作成します。

[トランスポートの場所(TLOC)]の一覧で、サービスに到達するためにトラフィックをリダイレクトする必要があるアドレスを指定します。

<#root>

vSmart#

```
vSmart(config)#
policy
vSmart(config-policy)#
lists
vSmart(config-lists)#
site-list cEdge-1
vSmart(config-site-list-cEdge-1)#
site-id 1
vSmart(config-site-list-cEdge-1)# exit
vSmart(config-lists)#
site-list cEdge-2
vSmart(config-site-list-cEdge-2)#
site-id 2
vSmart(config-site-list-cEdge-2)# exit
vSmart(config-lists)#
tloc-list cEdge-1-TLOC
vSmart(config-tloc-list-cEdge-1-TLOC)#
tloc 192.168.1.11 color public-internet encap ipsec
vSmart(config-tloc-list-cEdge-1-TLOC)#
commit
2. Cisco Catalyst SD-WANコントローラでポリシーを設定します。
このシーケンスにより、VRF 1からのトラフィックがフィルタリングされます。トラフィックは
、VRF 5にあるサービスファイアウォールで許可され、検査されます。
<#root>
vSmart#
config
vSmart(config)#
```

config

```
policy
vSmart(config-policy)#
control-policy Service-Chaining
vSmart(config-control-policy-Service-Chaining)#
sequence 1
vSmart(config-sequence-1)#
match route
vSmart(config-match-route)#
vpn 1
vSmart(config-match-route)#
action accept
vSmart(config-action)#
set
vSmart(config-set)#
service FW vpn 5
vSmart(config-set)#
service tloc-list cEdge-1-TLOC
vSmart(config-set)# exit
vSmart(config-action)# exit
vSmart(config-sequence-1)# exit
vSmart(config-control-policy-Service-Chaining)#
default-action accept
vSmart(config-control-policy-Service-Chaining)#
commit
3. Cisco Catalyst SD-WANコントローラにポリシーを適用します。
ポリシーは、VRF 1からのトラフィックの検査を許可するようにサイト1と2で設定されます。
<#root>
```

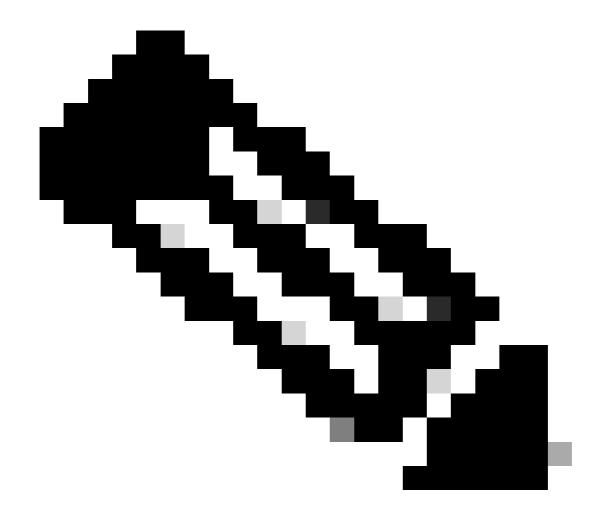
vSmart#

config

```
vSmart(config)#
apply-policy
vSmart(config-apply-policy)#
site-list cEdge-1
vSmart(config-site-list-cEdge-1)#
control-policy Service-Chaining out
vSmart(config-site-list-cEdge-1)# exit

vSmart(config-apply-policy)#
site-list cEdge-2
vSmart(config-site-list-cEdge-1)#
control-policy Service-Chaining out
vSmart(config-site-list-cEdge-1)#
commit
```

テンプレートを使用した設定

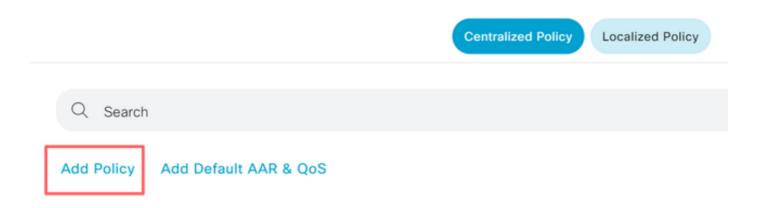


注:Cisco Catalyst SD-WAN Manager Graphic User Interface(GUI)を介してポリシーをアクティブにするには、Cisco Catalyst SD-WAN Controllerにテンプレートが接続されている必要があります。

1. Cisco Catalyst SD-WAN Managerでポリシーを作成します。

Configuration > Policies > Centralized Policyの順に移動します。

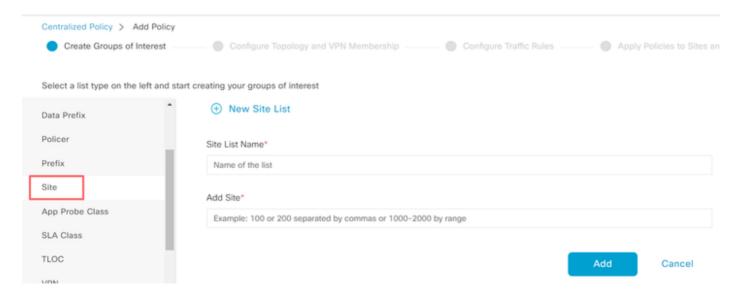
Centralized PolicyタブでAdd Policyをクリックします。



2. Cisco Catalyst SD-WAN Managerでリストを作成します。

Site > New Site Listの順に移動します。

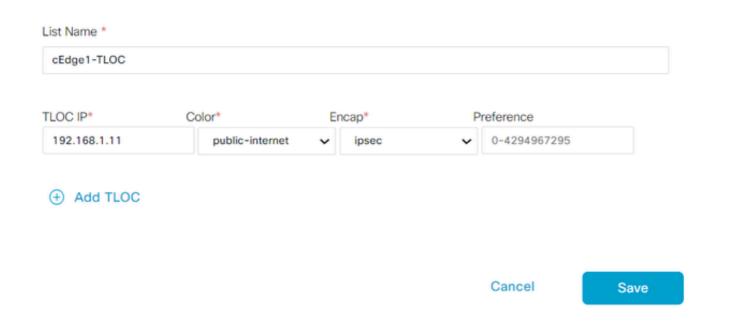
VRF 1が配置されているサイトのサイトリストを作成し、Addを選択します。



TLOC > New TLOC Listの順に移動します。

TLOCリストサービスチェーンの作成場所を特定し、Saveを選択します。

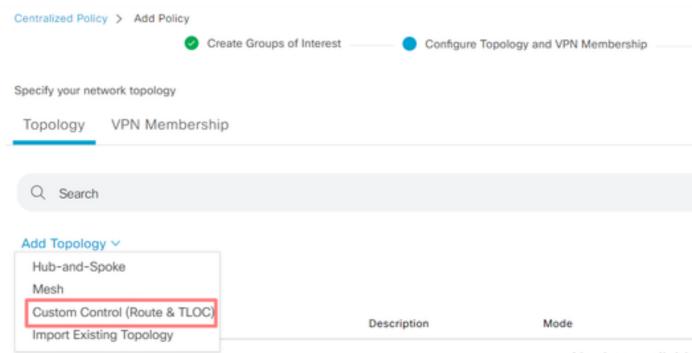
TLOC List



3. 順序ルールを追加します。

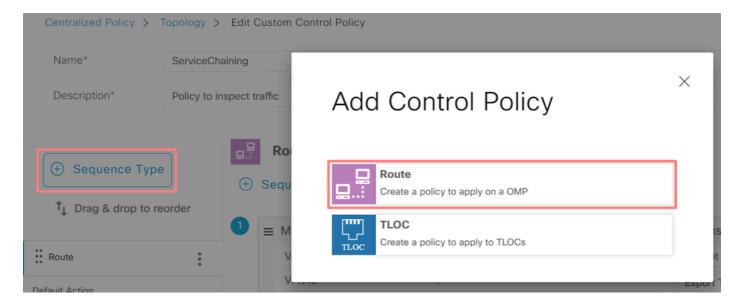
Topologyタブをクリックして、Add Topologyをクリックします。

カスタムコントロール(ルートおよびTLOC)を作成します。



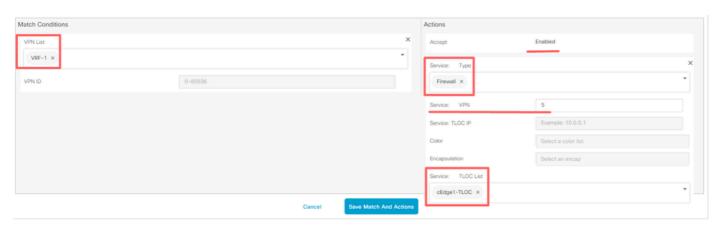
No data available

Sequence Typeをクリックして、Route sequenceを選択します。



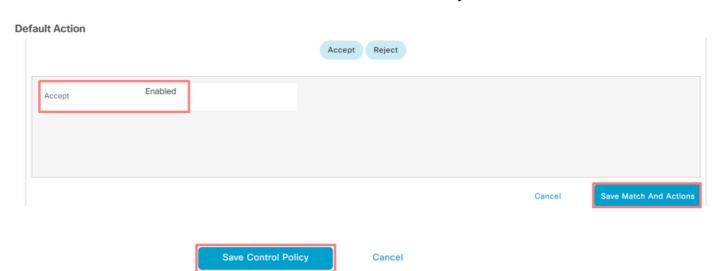
シーケンスルールを追加します。

このシーケンスは、VRF 1からのトラフィックをフィルタリングし、通過を許可してから、VRF 5内に存在するサービス(ファイアウォール)にリダイレクトします。これは、ファイアウォールサービスの場所であるサイト1のTLOCを使用して実現できます。



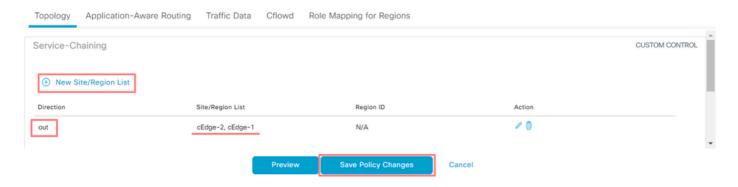
ポリシーのデフォルトアクションをAcceptに変更します。

Save Match and Actionsをクリックし、次にSave Control Policyをクリックします。



4. ポリシーを適用します。

Topologyタブをクリックし、Service-Chaining Policyの下でNew Site/Region List on Outbound Site Listを選択します。VRF 1トラフィックが検査する必要があるサイトを選択して、Save Policyをクリックします。変更を保存し、Save Policy Changesをクリックします。



ファイアウォールサービスのアドバタイズ

CLIを使用した設定

ファイアウォールサービスをプロビジョニングするには、ファイアウォールデバイスのIPアドレスを指定します。このサービスは、OMPアップデートを通じてCisco Catalyst SD-WANコントローラにアナウンスされます。

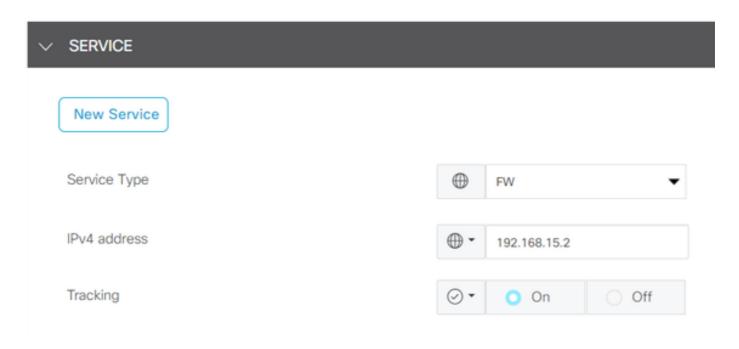
<#root> CEdge-01# Config-transaction CEdge-01(config)# sdwan CEdge-01(config-sdwan)# service Firewall vrf 5 CEdge-01(config-vrf-5)# ipv4 address 192.168.15.2 CEdge-01(config-vrf-5)# commit

テンプレートを使用した設定

VRF 5の機能テンプレートに移動します。

Configuration > Templates > Feature Template > Add Template > Cisco VPNの順に進みます。

Service SectionでNew Serviceをクリックします。 値を入力し、サービスを追加して、テンプレートを保存します。



確認

ルート漏出

Cisco Catalyst SD-WANコントローラがVRF 1からVRF 5へ、およびその逆にルートをエクスポートしていることを確認します。

<#root>

vSmart# show omp routes vpn 1 | tab

VPN	PREFIX	FROM PEER	PATH ID	LABEL	STATUS	ATTRIBUTE TYPE	TLOC IP
1	192.168.15.0/24	192.168.3.16	92	1003	C,R,Ext	original	192.168.
						installed	192.168.
1 1	192.168.16.0/24 192.168.18.0/24	192.168.3.16 192.168.3.15	69 69	1002 1002	C,R C,R	installed installed	192.168 192.168
vSmar	t# show omp routes v	pn 5 tab					
VPN	PREFIX	FROM PEER	PATH ID	LABEL	STATUS	ATTRIBUTE TYPE	TLOC IP
5	192.168.15.0/24	192.168.3.16	69	1003	C,R	installed	192.168

```
192.168.16.0/24
                    192.168.3.16
                                             1002
                                      92
                                                     C,R,Ext
                                                               original
                                                                         192.168
                                                                         192.168
                                                               installed
     192.168.18.0/24
                    192.168.3.15
                                             1002
                                      92
                                                     C,R,Ext
                                                               original
                                                                         192.168
                                                               installed
                                                                         192.168
Ciscoエッジルータが、VRF 1からVRF 5への漏出ルートを受信したことを確認します。
Ciscoエッジルータが、VRF 5からVRF 1への漏出ルートを受信したことを確認します。
```

```
<#root>
cEdge-1#
show ip route vrf 1
----- output omitted -----
     192.168.15.0/24 [251/0] via 192.168.3.16 (5), 10:12:28, Sdwan-system-intf
     192.168.16.0/24 is variably subnetted, 2 subnets, 2 masks
C
          192.168.16.0/24 is directly connected, TenGigabitEthernet0/0/3
          192.168.16.1/32 is directly connected, TenGigabitEthernetO/0/3
L
     192.168.18.0/24 [251/0] via 192.168.3.16, 10:12:28, Sdwan-system-intf
cEdge-1#
show ip route vrf 5
----- output omitted -----
192.168.15.0/24 is variably subnetted, 2 subnets, 2 masks
     192.168.15.0/24 is directly connected, TenGigabitEthernet0/0/2
     192.168.15.1/32 is directly connected, TenGigabitEthernetO/0/2
L
m
     192.168.16.0/24 [251/0] via 192.168.3.16 (1), 10:17:54, Sdwan-system-intf
     192.168.18.0/24 [251/0] via 192.168.3.15, 10:17:52, Sdwan-system-intf
cEdge-2#
show ip route vrf 1
----- output omitted -----
      192.168.15.0/24 [251/0] via 192.168.3.16, 01:35:15, Sdwan-system-intf
```

```
m 192.168.16.0/24 [251/0] via 192.168.3.16, 01:35:15, Sdwan-system-intf
192.168.18.0/24 is variably subnetted, 2 subnets, 2 masks
C 192.168.18.0/24 is directly connected, GigabitEthernet0/0/1
L 192.168.18.1/32 is directly connected, GigabitEthernet0/0/1
```

サービスチェーン

Ciscoエッジルータが、OMPサービスルートを介してCisco Catalyst SD-WANコントローラにファイアウォールサービスをアドバタイズしたことを確認します。

<#root>

cEdge-01#

show sdwan omp services

ADDRESS FAMILY	TENANT	VPN	SERVICE	ORIGINATOR	R FROM P	EER	PATH ID	REGION ID	LABEL	STATUS	VRF
ipv4	0	1 5	VPN VPN	192.168.1. 192.168.1.		0.0.0 0.0.0	69 69		1002 1003	C,Red C,Red	-
0	5	FW	192.168.	1.11 0.0	.0.0	69	9 None	1005	C,Red	,R 5	

Cisco Catalyst SD-WANコントローラがサービスルートを正常に受信したことを確認します。

<#root>

vSmart#

show omp services

ADDRESS						PATH	H REGIO	ON		
ipv4	1 1 5	VPN VPN VPN	192.	168.1.12 168.1.11 168.1.11	192.	168.1.12 168.1.11 168.1.11	L 69	None None None	1002 1002 1003	C,I,R C,I,R C,I,R
5	FW	192.168	.1.11	192.168.	1.11	69	None	1005	C,I,R	

ファイアウォールサービスがVRF 1からのトラフィックを検査していることを確認するには、tracerouteを実行します。

<#root>

```
Service-Side-cEdge1#traceroute 192.168.18.2
Type escape sequence to abort.
Tracing the route to 192.168.18.2
VRF info: (vrf in name/id, vrf out name/id)
1 192.168.16.1 0 msec 0 msec 0 msec
2 192.168.16.1 1 msec 0 msec 0 msec
3 192.168.15.2 1 msec 0 msec 0 msec
4 192.168.15.1 0 msec 0 msec 0 msec
5 10.31.127.146 1 msec 1 msec 1 msec
6 192.168.18.2 2 msec 2 msec *
Service-Side-cEdge2#traceroute 192.168.16.2
Type escape sequence to abort.
Tracing the route to 192.168.16.2
VRF info: (vrf in name/id, vrf out name/id)
1 192.168.18.1 2 msec 1 msec 1 msec
2 10.88.243.159 2 msec 2 msec 2 msec
3 192.168.15.2 1 msec 1 msec 1 msec
```

関連情報

• <u>サービスチェーン</u>

4 192.168.15.1 2 msec 2 msec 1 msec 5 192.168.16.2 2 msec * 2 msec

- ルート漏出
- SD-WAN ルート漏出の設定 YouTube

翻訳について

シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版(リンクからアクセス可能)もあわせて参照することを推奨します。